

考える会通信 35号

愛子・秋保セミデマンド 一度乗ってみませんか♪

安全第一をモットー
秋保までお届けします!

一度でも乗っていただくことが、
地域の交通を守ることにつながります。

秋保



愛子



秋保地区の交通を考える会 及川会長

「秋保地区地域活動のつどい」でお時間をいただき、「ぐるりんあきう」の近況を「報告させていただきました(本誌中面掲載)」。ぐるりんあきうの利用状況は順調で、段々と「秋保の足」として浸透してきましたと実感しています。

一方で、1月からスタートした愛子から秋保へのセミデマンド交通は、要望の声が多くあったにもかかわらず、これまでほとんど利用がありません！これは認知度だけでなく、使い勝手の悪さも一因であると考えています。

会計の佐々木さんの体験レポート(本誌中面掲載)にあるとおり、良し悪しがあるので、ぜひ、皆さんにも実際に試していただき、改善点を提案していただければと思います！

「これからもドンドン
改良していきます！」

事務局長 佐藤祐二



●「考える会通信」は、町内会の協力をいただき、秋保町内にお住まいの皆様へ配布させていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

愛子・秋保セミデマンドが存続の危機！？

「愛子・秋保セミデマンド」の利用は低迷!

ぜひ一度はご利用いただき、改善に向けたご意見をお寄せくださいm(____)m

「愛子・秋保セミデマンド」は、秋保地区にお住いの多くの方々の声を受け、秋保と愛子間の交通利便性を高めるために、1月10日より路線バスを補完する形でスタートしました。

今回の試験運行の結果を踏まえ検討していきたいと考えておりますが、利用が非常に少ないため結果の検証も難しい状況です。

皆様からいただいた声をもとに秋保地区にあった交通を検討していきたいと考えておりますので、ぜひ一度「愛子・秋保セミデマンド」をご利用ください。

そして、感想や改善点などのご意見をお住いの町内会長または下記連絡先までお寄せください。

皆様のご利用が地域の交通を「つくり」、「守る」ことにつながります。

参考

R3.3月実施住民アンケート(対象:試験運行I運行区域内)

問2-1 行き先について

22人 22人

(12.4%) (12.4%)

133人

(75.1%)

●現在のままでよい

■行き先が増えれば利用したい

●不明

(n=177)

問2-1 希望する行き先

(n=177)

114

41

9

愛子方面

生田方面

その他

複数回答

☑ 愛子方面からの戻りの交通が欲しい(湯元 40代)

☑ 愛子駅から家まで帰るバスが少なく4時間待つ時がある(境野 高校生)

☑ 愛子駅から秋保方面に向かうバスは13:18を逃すと、17時台まで無い(館 40代)

2月の考える会 代表者会レポート

2月15日に代表者会を開催しました。会議では、愛子・秋保セミデマンド試験運行の利用促進等について議論を行いました。

代表者会で出された意見の一部を紹介します。

●セミデマンドの利用促進について

さらなる広報周知を図り認知度を高める。

- ☑ 新聞折込を活用しリーフレット等を配布する。
- ☑ 秋保中学校の生徒や秋保地区から通っている錦ヶ丘中学校の生徒にも利用してもらうために、利用方法などを示したチラシを配布する。

●ぐるりんあきうの広報物について

- ☑ 来年度からの実証運行にあたり、現在のリーフレットを更新し、次号の考える会通信とあわせて配布する。



16名が出席した代表者会の様子

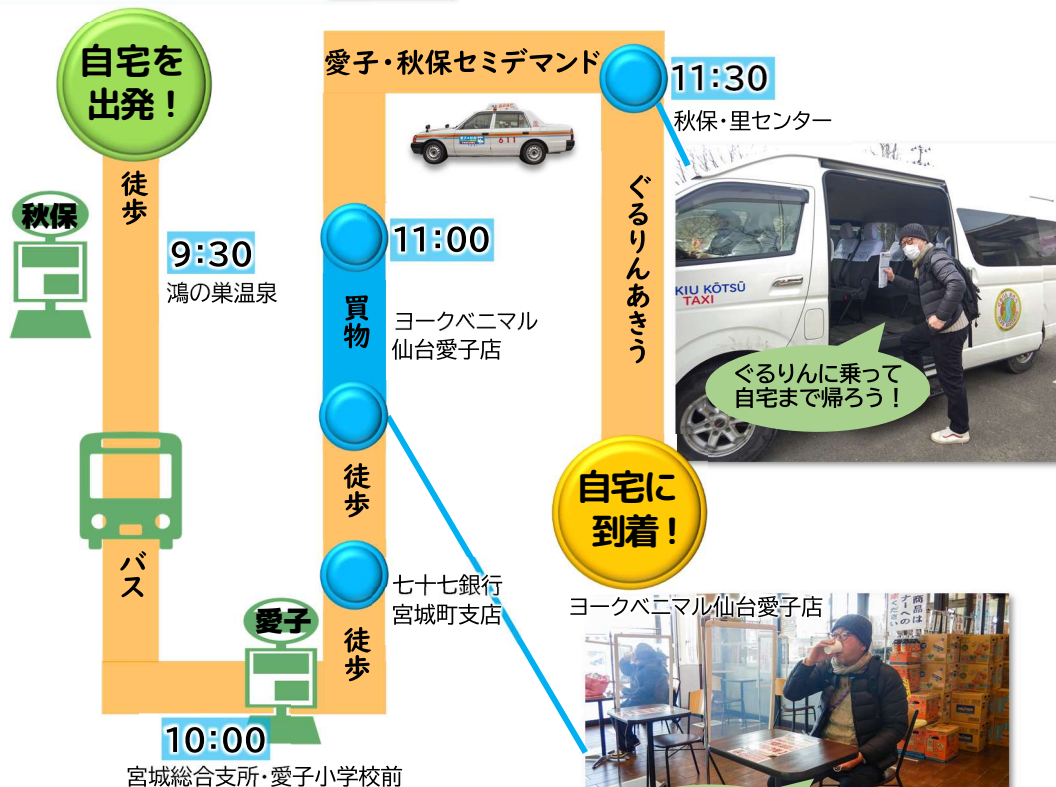
■ 発行:秋保地区の交通を考える会 会長 及川 純一 電話 022-399-2133

■ 支援機関:仙台市 都市整備局 地域交通推進課 電話 022-214-8495

会計の佐々木氏が 乗ってみた



平日ぶらり愛子お出かけ



《乗って気が付いたこと》

①時間にゆとりがあった。

10時に愛子に着き、予約をした11時のセミデマンドまで1時間ありました。銀行と薬局、そしてヨークベニマルで買い物を予定していて、予約時間に間に合うか心配でしたが、徒歩で買い物をすると車の移動がないからか、かなり余裕で用を足せました。

②予約するのに手間がかかった。

使ってみて、愛子から自宅まで帰るために「愛子・秋保セミデマンド」と「ぐるりんあきう」の予約を別々のタクシー会社に電話するのは少し面倒でした。そして里センターでぐるりん号を待つ乗り継ぎ時間も少し長い気がしました。

でも、公共交通機関で移動するのに乗り継ぎがあるのは当たり前のことですよね。便利なマイカーに慣れている私たちも、少し意識を変えてみる必要があるのかな、と感じました。

秋保地区地域活動のつどいへの参加レポート

秋保地区の交通を考える会 佐藤 祐二事務局長

1月28日(土)に、3年ぶりに開催された秋保地区地域活動のつどいに参加しました。つどいでは、地域交通「ぐるりんあきう」と「愛子・秋保セミデマンド」の活動事例発表とともに、地域交通ブースを設け、参加者の皆さまとの対話を通して地域交通の広報や利用啓発を行いました。

参加者の多くは地域交通について認識している一方で、ご利用したことがある方はそれほど多くない様子でした。秋保地区の住みよいまちづくり、活性化に向け、多くの皆様のご利用とご協力をお願いしてきました。

会場の様子



ぐるりんあきう利用者数の推移

- 住民は、4月から平均して1日あたり12.5人と安定した利用が続いています。
- 来訪者は、コロナの落ち着いたと全国旅行支援が重なった10月中旬から11月中旬にかけて多くの利用が見られましたが、12月以降は落ち込みが見られています。

